

科目名	社会福祉			担当教員	真鍋 顕久	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1CSR109
期待される学修成果	子ども理解 態度					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	相談援助職					
実務経験を生かした授業内容	施設での相談援助業務の経験を生かし、ソーシャルワークについて講義する。					
到達目標及びテーマ	1. 社会福祉の原理をめぐる理論と哲学について学ぶ。2. 現代社会における社会福祉制度の意義・理念について理解する。3. 権利擁護について理解する。4. 社会福祉におけるニーズと社会資源について把握する。5. 社会福祉の援助形態・方法について理解する。6. 社会福祉制度の課題について把握する。					
授業の概要	保育士をめざすものにとって、社会福祉の根幹である人間生活の支援のあり方を学んでいくことは重要である。本講義では、社会福祉の理念・本質の学習をすることを通じて、社会科学的視点をもった福祉専門職者としての資質を培う。また、社会福祉の法制度の体系や財政、対人援助技術の概要について理解できるようにする。 【デジタル技術利用 該当番号：① ④】					

授業計画	
第1回	社会福祉とは何か
第2回	社会福祉の理念
第3回	社会福祉の役割と意義
第4回	社会福祉の対象と供給主体
第5回	社会福祉の歴史的変遷（戦前）
第6回	社会福祉の歴史的変遷（戦後 低成長期と福祉見直し論）
第7回	社会福祉と子ども家庭の福祉
第8回	相談支援の意義と原則
第9回	社会福祉法制の体系（老人福祉法、介護保険法）
第10回	社会福祉法制の体系（児童福祉関連法、障害者福祉関連法）
第11回	社会福祉法制の体系（公的扶助：生活保護法）
第12回	社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み
第13回	地域福祉の推進とネットワーク
第14回	社会福祉の動向と課題
第15回	まとめ（第1回から第14回の内容について）

事前学修	2時間	提示された課題に取り組む。
事後学修	2時間	教授された内容を整理しておく。
フィードバックの方法	Eメール等で質問を受付ける。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	40%	授業内容に関するレポート課題を出す
上記以外の試験・平常点評価	60%	授業への積極的な参加姿勢
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	「保育所保育指針」「幼保連携型 認定こども園教育保育要領」			